

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

中央銀行プレスリリース

2021年6月17日

対外セクター概況 - 2021年4月

概要

2021年4月、スリランカの対外セクターは、貿易赤字幅は前年同月比で2か月連続で拡大、観光部門の収益は低調に推移した。特に、輸出入ともに前年同月から大幅に増加したが、前月からはどちらも減少。しかし、国外労働者からの送金は勢いを維持し、大幅な伸びを記録。一方、国際金融収支は、中国開発銀行からのシンジケート・ローン・ファシリティの資金を受け強化された。スリランカルピーは、4月中旬に変動が見られたものの、月を通じて概ね安定。

表1：対外セクター 実績 サマリー

カテゴリー	2020年 4月 100万米ドル	2021年 4月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~4月 100万米ドル	2021年 1~4月 100万米ドル	推移 (%)
商品輸出	282	818	189.8	2,932	3,800	29.6
商品輸入	1,123	1,707	52.1	5,625	6,748	20.0
貿易収支	-840	-889		-2,693	-2,948	
観光収入	-	6	-	682	19	-97.3
国外労働者からの送金	375	519	38.3	1,975	2,386	20.8
CSEへの純流入	-	-16		-28	-107	
政府への総流入	142	500		972	799	
国債	1	0.1		84	8	
長期ローン	141	n.a.		388	291	
シンジケートローン	-	500		500	500	
合計				-290	-929	

出典：スリランカ税関当局 (SLC)、スリランカ観光開発委員会 (SLTDA)、コロンボ証券取引所(CSE)、
スリランカ投資委員会(BOI)、スリランカ中央銀行(CBSL)

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

貿易収支と貿易指標

貿易収支：貿易赤字は、前年同月の8.40億米ドル、2021年3月の8.32億米ドルに対し8.89億米ドルで、2か月連続で拡大。2020年4月のロックダウン期間との比較では輸出、輸入ともに大幅に増加したが、2021年3月との比較ではどちらも減少。一方、2021年1～4月累積での貿易赤字は、前年同期の26.93億米ドルから29.48億米ドルに拡大。主な要因は図1のとおり。

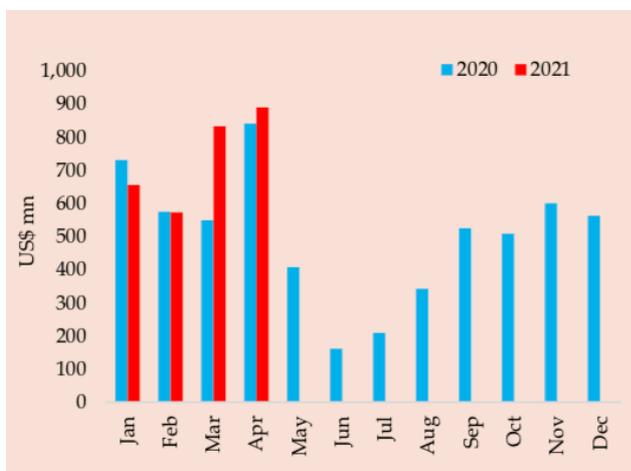
貿易指標：貿易指標（輸出価格と輸入価格の比率）は、輸入価格の上昇が輸出価格の上昇を上回り、前年同月比で5.5%悪化。

図1：2021年1～4月期 前年同期比 貿易赤字拡大主要因（百万米ドル）



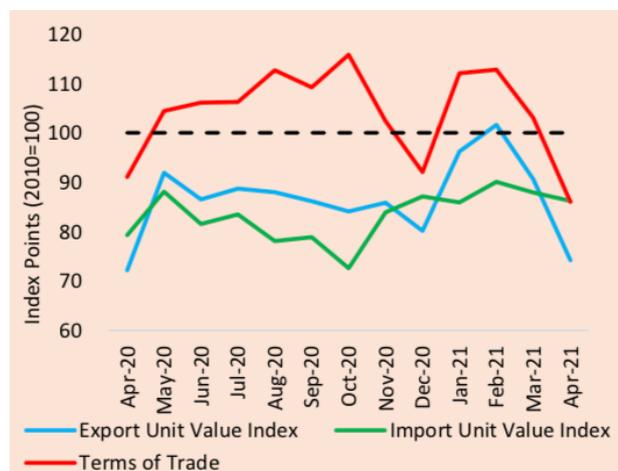
出典：SLC、CBSL

図2：月別貿易赤字（2020～21年）



出典：SLC、CBSL

図3：貿易指標（2020～21年）



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

商品輸出

輸出全般：2021年4月の商品輸出収益は、4月としては過去最高を記録。COVID-19パンデミック第一波による全土でのロックダウンにより大きく落ち込んだ前年同月の2.82億米ドルから189.8%増の8.18億米ドルとなった。しかし輸出収益は、パンデミック第三波の影響と4月の新年の祝祭日を反映し、前月の10.94億米ドルを25.2%下回った。

工業製品輸出：工業製品輸出の全サブセクターの収益は、前年同月比302.5%と大幅に改善。前月比では、石油製品、皮革・旅行品・履物（主に履物）、動物飼料（主に犬猫の餌）、印刷業製品（主に紙幣）のサブセクターを除き、工業製品輸出収益は22.0%減。主に繊維衣料品、ゴム製品、機械・機械器具、宝石・ダイヤモンド・宝飾品などの収益が前月比で減少。一方、石油製品ではナフサの輸出が増加し、前月比で改善。バンカー・航空燃料の輸出製品の平均価格は上昇したものの、航空機や船舶の入港による航空燃料やバンカー燃料の供給量が大幅に減少、輸出収益は減少。

農業品輸出：農産物関連サブセクターの輸出収益は、前月比で35.6%減少したが、前年同月比では37.7%増加。紅茶の輸出収益は、輸出価格は上昇したが輸出量が減少し、前月比で大幅に減少。また、スパイス（主にシナモン、コショウ、クローブ）、ココナッツ、水産物、小規模農産品の輸出収益は、前月比で大幅に減少。

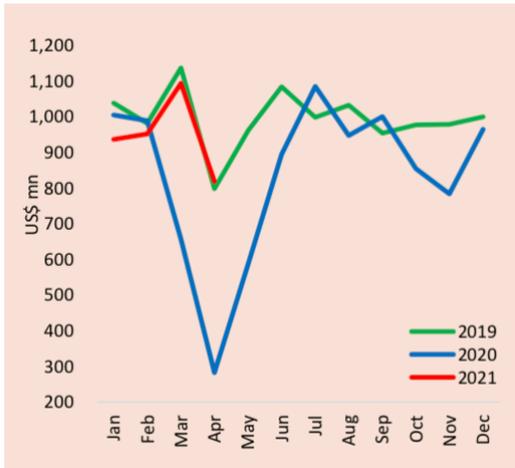
鉱物資源輸出：鉱物資源輸出は、前年同月比では332.9%増加したが、前月比では10.3%減少。土石（主に石英）、鉱石・スラグ・灰（主にチタン鉱）のサブセクターの収益減少を反映。

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

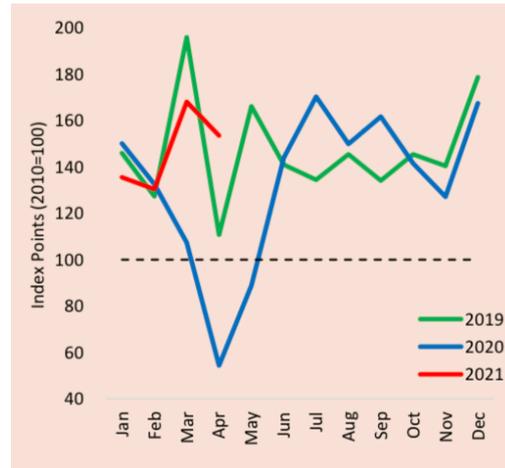
輸出指標：輸出量指数は前年同月比で 182.0%増、単価指数は 2.8%増。輸出量増加と価格上昇が合わさり、輸出収益が増加したことを示す。

図 4：月別輸出実績



出典：SLC、CBSL

図 5：月別輸出量指標



出典：CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 2：商品輸出収益

カテゴリー	2020年 4月 100万米ドル	2021年 4月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1~4月 100万米ドル	2021年 1~4月 100万米ドル	推移 (%)
1. 工業製品輸出	160.8	647.0	302.5	2,294.8	2,949.8	28.5
食品・飲料・タバコ	16.6	35.0	111.1	126.9	167.4	32.0
動物飼料	4.3	9.3	114.8	29.7	38.9	30.6
繊維衣料品	65.2	366.0	461.2	1,320.1	1,699.5	28.7
衣料品	58.1	336.9	479.4	1,222.0	1,556.0	27.3
生地	5.1	20.6	300.2	70.1	98.9	41.2
その他繊維衣料品	1.9	8.5	340.1	28.0	44.5	59.0
ゴム製品	24.2	61.6	154.4	220.3	317.9	44.3
宝石・ダイヤモンド・宝飾品	0.1	24.2	18,053.4	54.7	95.0	73.6
機械・機械器具	9.0	31.0	244.5	95.4	156.0	63.5
輸送用機器	1.4	7.4	436.0	19.1	34.1	78.1
石油製品	14.5	36.3	149.9	192.2	122.1	-36.5
化学製品	7.7	15.3	99.3	45.4	68.3	50.3
木材・紙製品	2.8	8.4	205.3	29.3	39.7	35.5
印刷業製品	1.0	12.3	1,094.2	11.7	22.1	88.2
皮革・旅行品・履物	1.0	3.8	262.1	17.6	14.9	-15.3
プラスチック関連品	1.3	5.0	276.9	16.3	24.2	48.4
ベースメタル関連品	6.2	8.7	39.7	37.7	42.0	11.4
セラミック製品	0.3	2.0	499.0	6.4	11.3	75.5
その他工業製品輸出	5.0	20.8	316.0	71.8	96.2	34.0
2. 農産品輸出	120.3	165.6	37.7	626.8	829.4	32.3
紅茶	78.4	79.3	1.1	348.4	417.4	19.8
ゴム製品	1.6	3.2	102.7	8.8	15.4	75.6
ココナッツ	14.3	27.3	91.3	84.7	123.6	45.9
スパイス	12.0	22.4	85.8	63.1	136.2	115.8
野菜	1.2	1.9	50.7	8.1	8.4	3.9
非加工タバコ	1.6	2.7	69.8	6.0	11.3	88.8
小規模農産品	4.9	9.7	96.8	44.5	41.6	-6.6
海産物	6.3	19.2	206.0	63.3	75.6	19.4
3. 鉱物資源輸出	1.0	4.2	332.9	5.9	16.0	172.6
4. 非分類品輸出	0.3	1.3	412.3	4.4	5.6	25.6
輸出合計	282.3	818.2	189.8	2,931.9	3,800.3	29.6

出典：SLC、国立宝石宝飾品委員会 (NGJA)、国営セイロン石油公社 (CPC) 及び 他石油輸出者、CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

商品輸入

輸入全般：COVID-19 パンデミック第一波と世界的な石油価格低下の影響があった前年同月の低い輸入支出 11.23 億米ドルから、2021 年 4 月は 52.1%増の 17.07 億米ドルとなった。中間財や投資財の輸入が増加。一方、2021 年 3 月と 4 月の輸入額はともにパンデミック前の水準を上回ってはいたが、2021 年 4 月の輸入支出は 3 月（19.26 億米ドル）と比べてかなり低い水準（11.4%減）となった。

消費財：食品・飲料、非食品消費財の両カテゴリーで減少し、前年同月比で 7.9%、前月比で 26.6%の減少。食品・飲料では、砂糖・菓子類、野菜（主に大玉ねぎ、レンズ豆、ジャガイモ）、乳製品（主に粉ミルク）、スパイス（主に唐辛子）、油脂などの品目で輸入額が前月比で減少。また非食品消費財では、通信機器（主に携帯電話）、医療・医薬品、家電製品（主に冷蔵庫、扇風機）の輸入額が前月比で減少。一方、海産物（主に干物）、穀類・精米製品（主にコメ）が前月比で増加。

中間財：前年同月比では 88.6%増加したが、前月比では 4.9%減少。多くの中間財の輸入が前月比で減少しており、特にベースメタル（主に鉄・鋼鉄）、プラスチック及び関連品、繊維及び繊維製品、食品、ゴム及び関連製品が減少。一方、燃料、肥料、鉱物への支出は前月比で増加。原油の平均輸入価格は、2021 年 2 月の 64.07 米ドル/バレルに対し 2021 年 4 月は 66.44 米ドル/バレルに上昇（2021 年 3 月はメンテナンスのために製油所が閉鎖され、原油の輸入はなし）。しかし、石油精製品と石炭は、2021 年 3 月比で輸入量、平均輸入価格とも減少し、輸入額は減少。肥料輸入は、前月比で輸入価格と数量が上昇し顕著に増加、鉱物製品輸入の増加はセメント原料の輸入が牽引。

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

投資財：前年同月比では41.4%増加したが、前月比では15.2%減少。機械設備、建設資材、輸送用機器などすべてのサブセクターが前月比で減少。機械設備の輸入では、電気モーター・発電機セット、オフィス機器、医療・実験機器、タービンが少なく前月比で減少。また、木材製品、セメント、農業用トラクターの輸入減により、その他小分類の輸入も減少。一方、ローリー、ポンプ、鉱物製品（アスベストや石灰など）、農業機械、絶縁電線・ケーブル、セラミック製品の輸入が前月比で増加。

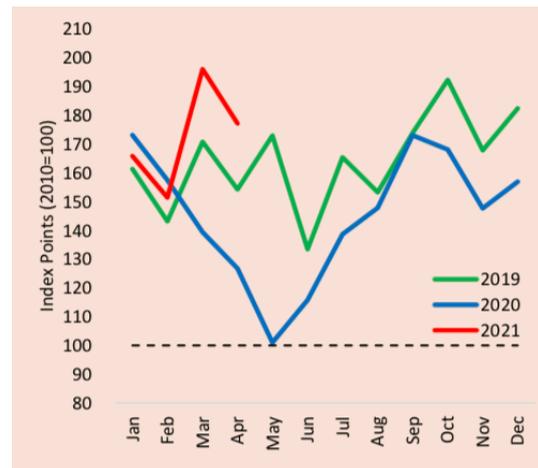
輸入指標：輸入量指数は前年同月比で39.8%増、単価指数は8.8%増。輸入量増加と価格上昇が合わさり、輸入支出が増加したことを示す。

図 6：月別輸入実績



出典：SLC、CBSL

図 7：月別輸入量指標



出典：CBSL

【仮訳】

＊ あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

表 3：商品輸入支出

カテゴリー	2020年 4月 100万米ドル	2021年 4月 100万米ドル	推移 (%)	2020年 1～4月 100万米ドル	2021年 1～4月 100万米ドル	推移 (%)
1. 消費財	302.5	278.6	-7.9	1,268.6	1,276.5	0.6
食品・飲料	136.8	123.5	-9.7	563.2	628.8	11.6
穀類・精米製品	2.0	3.4	70.1	-13.9	12.8	-8.0
乳製品	27.3	24.8	-9.3	124.1	114.9	-7.4
野菜	40.9	26.9	-34.1	145.6	138.0	-5.2
海産物	18.7	8.4	-55.0	65.3	33.1	-49.3
砂糖・菓子類	15.3	30.0	96.5	88.3	167.4	89.5
スパイス	15.3	9.8	-36.0	50.2	47.5	-5.5
その他食品・飲料	17.4	20.3	16.4	75.8	115.2	51.9
非食品消費財	165.7	155.1	-6.4	705.4	647.7	-8.2
個人用車両	60.4	1.1	-98.2	216.8	3.5	-98.4
医療・医薬品	39.4	48.6	23.1	164.8	192.3	16.7
家電製品	16.0	26.4	65.7	66.5	97.6	46.8
衣類アクセサリ	12.2	19.2	57.8	85.3	74.9	-12.2
通信機器	14.3	27.2	89.9	63.0	137.0	117.4
家庭用品・家具	10.4	10.7	2.4	48.3	53.5	10.8
その他非食品消費財	13.0	21.9	68.5	60.6	88.7	46.3
2. 中間財	570.0	1,075.0	88.6	3,115.7	4,065.7	30.5
燃料	121.8	413.2	239.2	1,070.1	1,390.3	29.9
うち 原油	14.2	97.1	582.9	209.2	224.2	7.2
精製石油	84.8	286.1	237.3	734.6	1039.6	41.5
石炭	22.8	29.9	31.5	126.3	126.5	0.2
ダイヤモンド、貴石、貴金属	1.5	7.0	370.8	27.2	43.5	60.0
繊維及び繊維製品	146.9	228.4	55.5	768.9	938.6	22.1
紙及び板紙、関連製品	29.1	41.0	40.7	120.0	146.8	22.3
農業資材	18.5	19.1	3.1	69.3	86.6	24.9
小麦・トウモロコシ	9.0	26.7	197.1	88.8	120.2	35.3
ベースメタル	38.6	40.7	5.6	136.8	194.2	42.0
プラスチック及び関連品	41.1	57.1	38.9	168.0	257.8	53.5
化学製品	64.9	90.0	38.7	255.5	364.6	42.7
肥料	29.2	47.3	62.0	55.0	82.2	49.4
ゴム及び関連製品	13.1	32.4	146.8	80.6	133.4	65.6
鉱物製品	12.4	16.8	34.9	52.4	44.5	-15.1
その他中間財	43.9	55.4	26.2	223.1	263.0	17.9
3. 投資財	249.6	353.0	41.4	1,233.4	1,403.1	13.8
機械設備	113.1	227.9	101.5	685.5	913.0	33.2
建設資材	65.0	98.1	51.0	359.4	381.8	6.2
輸送用機器	71.3	26.8	-62.4	187.4	107.7	-42.5
その他投資財	0.2	0.1	-24.8	1.0	0.6	-41.1
4. 非分類品輸入	0.5	0.3	-35.9	7.7	2.8	-63.6
輸入合計	1,122.6	1,707.0	52.1	5,625.3	6,748.1	20.0
うち 非燃料輸入	1,000.8	1,293.8	29.3	4,555.3	5,357.8	17.6

出典：SLC、CPC、Lanka IOC PLC、CBSL

【仮訳】

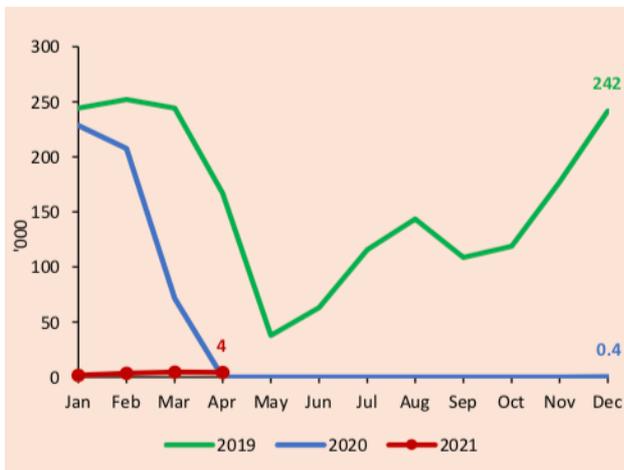
* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

その他の主な経常収支への流入

観光セクターでは、2021年4月の入国者数は限定的。観光客到着数は前月の4,581人と比較し、2021年4月は4,168人。2021年1~4月累計の観光客数は13,797、前年同期は507,311人だった。訪問観光客の主な出発国は、インド、中国、カザフスタン。観光客到着数から推計される2021年4月の観光収益は600万米ドル。累計での観光収入は、2020年1~4月の6.82億米ドルに対し、2021年1~4月は約1.900万米ドルと推定。

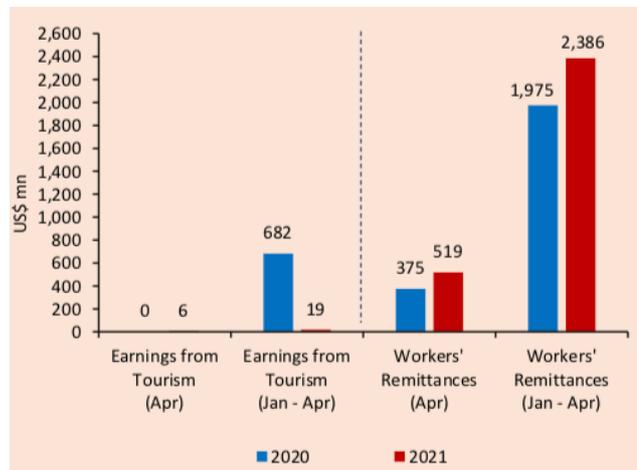
2021年4月の出稼ぎ労働者による国外からの送金は大幅に増加。同月の労働者送金額は、前年同月比38.3%増の5.19億米ドル。高い増加率は、COVID-19パンデミック第一波が発生した前年同月の低水準による結果、シンハラ・タミル新年による季節要素の影響による。2021年1~4月累計の労働者送金額は、前年同期比20.8%増の23.86億米ドル。

図8：月別観光客到着数



出典：SLTDA

図9：観光・送金収入



出典：SLTDA、認可銀行、CBSL

【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

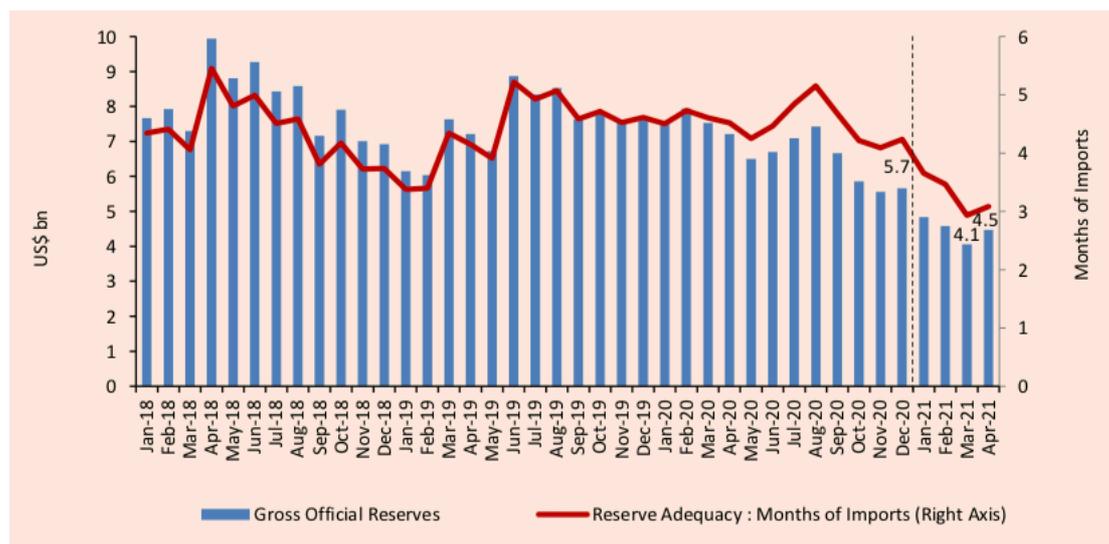
資金フロー

2021年4月の政府証券市場では、わずかな純外国投資の流入を記録。2021年1～4月の政府証券市場からの累積純流出額は500万米ドル。ルピー建政府証券市場における外国人投資家のエクスポージャー総額は、2021年4月末時点で3,100万米ドルと低水準にとどまる。一方、2021年4月のコロンボ証券取引所（CSE）からの純流出額は1,600万米ドル。2021年1～4月累積では、CSEは1.07億米ドルの純流出を記録。2021年4月の政府への長期貸付での総流入額には、中国開発銀行からの5億米ドルのシンジケート・ローン・ファシリティの受領が含まれている。

公的準備高

2021年4月末の総公的準備金は45億米ドル、輸入の3.1か月分をカバー。一方、総公的準備金と銀行セクターの外貨資産を合わせた総外貨資産は、2021年4月末時点で71億米ドル、輸入の4.9か月分をカバー。なお、上記の準備高には、中国人民銀行とCBSLの間で締結された100億元（約15億米ドル）の3年間の二国間通貨スワップ枠は含まれていない。

図10：総公的準備高と準備高の充足状況



出典：CBSL

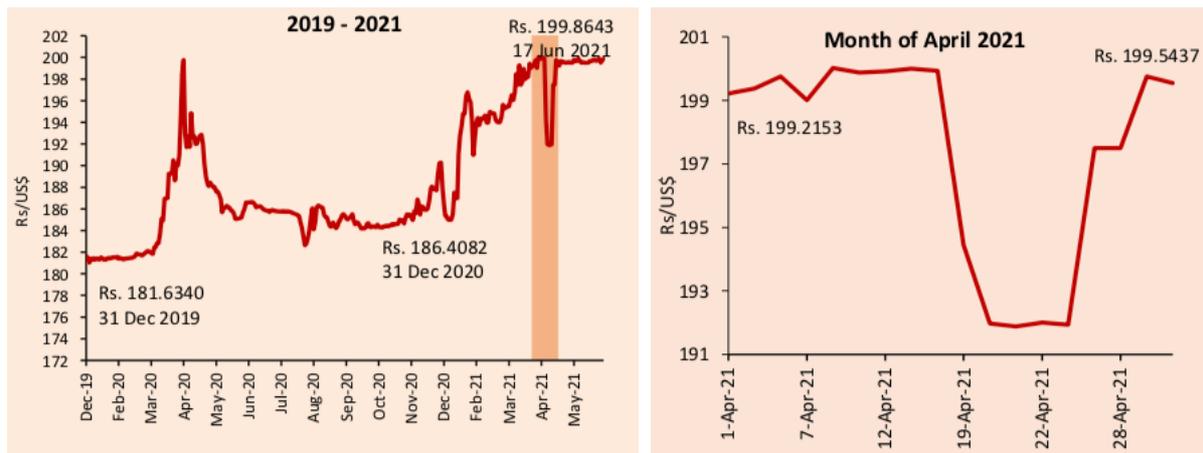
【仮訳】

* あくまでも筆者作成の仮訳であり、
翻訳の正確性や内容には一切の責任を負いません。

為替レートの動き

2021年4月、一時的に大きな為替レートの上昇が見られた。同月中旬までは3月末と同水準の為替レートを維持していたが、中国開発銀行からのシンジケート・ローン・ファシリティの受取り直後に為替レートが大幅に上昇。しかし、月末には元の水準に戻った。全体としては、4月のスリランカルピーの対米ドル為替レートは下落は0.3%にとどまった。2021年6月17日までの1年間で、スリランカルピーは対米ドルで6.7%下落。一方、クロス通貨の動きを反映し、2021年1月1日～6月17日の間、スリランカルピーはユーロ、英ポンド、豪ドル、インドルピーに対して下落、日本円に対しては上昇。中央銀行は2021年4月、非借入による総公的準備金積上げのため、市場から外貨を純額で吸収し続け、現在も継続。

図 11：対米ドルでのスリランカルピーの動き



出典：CBSL

表 4：主要通貨に対するスリランカルピーの動き

通貨	2019年	2020年	2021年6月17日時点 ルピー安 (-)/ ルピー高 (+)
米ドル	+0.6%	-2.6%	-6.7%
ユーロ	+2.6%	-11.2%	-4.4%
英ポンド	-2.8%	-6.2%	-9.1%
日本円	-1.0%	-7.5%	+0.1%
豪ドル	+1.3%	-11.4%	-5.8%
インドルピー	+2.6%	0.0%	-6.6%

出典：CBSL